

令和4年第1回喬木村議会定例会

本会議（一般質問通告書）

令和4年3月12日（土）

令和4年第1回喬木村議会定例会一般質問

令和4年3月12日 午前9時00分開議

会場：喬木村役場 議場

順序	氏名	質問事項
1	後藤 澄壽	○信州大学新学部の誘致について ○喬木村のプログラミング教育の現状と今後の方針について
2	木下 温司	○長期的視野に立った歳入・歳出について
3	櫻井 登	○外国語（英語）一貫教育の学習体系と指導体制について ○外国語教育に必要な母国語（日本語）の語学教育について ○外国語学習に結び付く課外学習の取り組みについて
4	下平 貢	○コロナ禍における今後の支援について ○アフターコロナ、人口減少時代に向けたコミュニティのあり方について
5	福澤 眞理子	○観光資源として、矢筈キャンプ場の整備と利用者の意見を取り入れることについて ○学校の女子トイレに生理用品の配置を
6	小川原美智穂	○宅地分譲について
7	佐藤 文彦	○村長の所信表明について

令和4年 2月18日

一般質問通告書

次の事項について喬木村会議規則第60条第2項の規定により通告します。

喬木村議会議長 後藤章人 殿

喬木村議会議員 後藤澄壽

質問事項 1	信州大学新学部の誘致について
質問の趣旨	1月に「信州大学新学部誘致推進協議会」が、786の団体・企業・個人によって設立され、喬木村、喬木村議会も加盟した。喬木村として、この誘致が南信州の今後の発展にどのような意味をもつと考え、この誘致運動でどのような役割を果たしていくのか、また、誘致が実現した場合、今後の村づくりにどのように活かしていくのか質す。
質問要旨と質問	<p>1-1 喬木村として、信州大学新学部の誘致が南信州の今後の発展にどのような意味をもつと考え、この誘致運動でどのような役割を果たしていくのかについて</p> <p>(1) 喬木村として、信州大学新学部の誘致が南信州の今後の発展にどのような意味をもつと考えているのか。</p> <p>(2) 喬木村として、信州大学新学部の誘致運動で、どのような役割を果たしていくのか。</p> <p>1-2 信州大学新学部の誘致が実現した場合、これを今後の村づくりにどのように活かしていくのかについて</p> <p>(1) 喬木村の小中学校の教育を進めるうえで、この誘致をどのように活かしていくのか。</p> <p>(2) 人口減少を克服する村づくりをしていくうえで、この誘致をどのように活かしていくのか。</p> <p>(3) 大学関連施設の村内誘致の可能性も出てくるかと思うが、こうしたことを村づくりにどのように活かしていくのか。</p> <p>(4) 情報関連産業など喬木村の産業振興のうえで、この誘致をどのように活かしていくのか。</p>

質問事項 2	喬木村のプログラミング教育の現状と今後の方針について
質問の趣旨	令和2年度から、全国の小学校で、プログラミング教育が必修となり、令和3年度には中学校でのプログラミング教育が拡充された。喬木村の小中学校のプログラミング教育の現状と今後の方針について質す。
質問要旨と質問	<p>2-1 喬木村のプログラミング教育の現状について 教育関係の会社の調査によると、調査対象の中学生のうち約8割の生徒が、プログラミングのスキルは必要と答え、約5割の生徒が、程度は問わずプログラミングができると答えたという。</p> <p>(1) 喬木村の小学校のプログラミング教育の現状は、どのようになっているか。また、程度は問わずプログラミングができると答える児童の割合はどのくらいか。</p> <p>(2) 喬木中学のプログラミング教育の現状はどのようになっているか。また、程度は問わずプログラミングができると答える生徒の割合はどのくらいか。</p> <p>2-2 今後、喬木村のプログラミング教育をどのように進めていくのかについて</p> <p>(1) 今後、喬木村の小学校のプログラミング教育をどのように進めていくのか。</p> <p>(2) 今後、喬木中学校のプログラミング教育をどのように進めていくのか。</p>



通告 NO 2

令和4年2月25日

一般質問通告書

次の事項について喬木村会議規則第60条第2項の規定により通告します。

喬木村議会議長 後藤 章人 殿

喬木村議会議員 木下 温司

質問事項 1	(質問するテーマ) 長期的視野に立った歳入・歳出について
質問の趣旨	歳入があつて、歳出があるわけですので、現状と今後について3年ごとの計画から「入りを量りていずるを為す」を考える。
質問要旨と質問	<p>1-1 歳入に大きく関係する、村の人口維持に関して。2006年スタートした第4次総合計画では、7000人の村づくりを目標にやってきましたが、令和4年1月1日現在5819人、人口維持に関し、現在考えられる施策等を含め、どのように取り組むのかお伺いします。</p> <p>1-2 今後の一般財源確保に向けた取り組みについてお伺いします。歳入の構成は、地方交付税36%、村税は収入の10%と地方交付税への依存度が高い中、年々増加する、社会保障費の扶助費、人件費、公債費の義務的経費は、歳出の大きな部分、こうした中、一般財源確保に向けた取り組みについて、お考えを伺います。</p> <p>1-3 国からの交付税、国の事業にかかわる問題について伺います。令和4年度の予算、農林水産省のRMO予算について伺います。RMO予算とは中山間地域で進む、人口減少、高齢化の進行による、農用地の維持管理、農業生産活動の継続が困難な集落が増加していることを踏まえ、集落機能の維持を目的に、今年度予算に盛り込まれました。今後の対応について伺います。</p> <p>1-4 滞納整理について伺います。滞納にも法的に強制できるもの、できないものがありますが、公平の立場から、今後の徴収対策について伺います。</p> <p>1-5 ふるさと納税について伺います。ふるさと納税は、村の財政にとって大きな財源の一つですが、逆に喬木村の住民の皆さんが、他の自治体へ納税している場合があります、その差額はいくらくらいになるのか伺います。</p> <p>1-6 次に歳出について伺います。建設会社の人員不足などにより契約工事の遅れが生じています。工事の遅れによる、増工及び設計変更などによる、予算の増額等の発生の恐れがないのか伺います。</p>

質問事項 2	(質問するテーマ)
質問の趣旨	
質問要旨と質問	<p>1-7次に賃借料について伺います。公共施設等の賃借料も多くの支払いの一つとなっていますが。現在の契約状況等について伺います。</p> <p>1-8長期計画における、資金対応について伺います。今後予想される、中学校、喬木壮等の改築等について、基金の状況を踏まえ今後の方向性について伺います。</p> <p>1-9次に下水道の状況について伺います。今年度から下水道料金を段階的に値上げするとの方針が出ていますが、維持管理を含め、今後の見通しについて伺います。</p> <p>1-10水道について伺います。人口減、少子化による給水人口の減少は今後の水道事業の運営に少なからず影響してくるものと思われま。それに比例して施設の老朽化、維持管理にかかる費用の増大が推定されます。今後の運営等に関しどのように対応されるのか伺います。</p>

令和4年 3月 2日

一 般 質 問 通 告 書

次の事項について喬木村会議規則第60条第2項の規定により通告します。

喬木村議会議長 後藤 章人 殿

喬木村議会議員 櫻井 登

質 問 事 項 1	外国語（英語）一貫教育の学習体系と指導体制について
質 問 の 趣 旨	保・小・中の系統立てた外国語学習の狙いや、取り組み方の現状はどのようなか。
質 問 要 旨 と 質 問	1-1 保育園から中学校までつながる外国語学習はどのように進められているのか。 保育園での様子や小学校の実際の授業の進め方についてお訊ねしたい。 1-2 小・中学校では外国語学習においてICT機器がどのように活用されているのか、お訊ねしたい。

質 問 事 項 2	外国語教育に必要な母国語（日本語）の言語教育について
質 問 の 趣 旨	外国語学習の前提に母国語（日本語）学習が基本ということは。
質 問 要 旨 と 質 問	2-1 外国語学習を進めるうえでも国語学習は大事と思う。その関連性についてお訊ねしたい。
質 問 事 項 3	外国語学習に結び付く課外学習の取り組みについて
質 問 の 趣 旨	グローバル人材育成にはリアルな体感が必要ではないか。
質 問 要 旨 と 質 問	3-1 異文化や歴史を学び、国際感覚を身に着けることは、広い視野を持つことが重要であり、グローバル人材育成にもつながる。そのような機会はいかがか。お訊ねしたい。

令和4年3月3日

一般質問通告書

次の事項について喬木村会議規則第60条第2項の規定により通告します。

喬木村議会議長 後藤 章人 殿

喬木村議会議員 下平 貢

質問事項 1	コロナ禍における今後の支援について
質問の趣旨	コロナの影響に加え物価の上昇という状況に村として何が出来るか
質問要旨と質問	<p>新型コロナウイルス関連の支援が継続されている中、これまでも様々な事業に着手され住民福祉に繋がっているものと推察される。ここへ来て、燃料費の高騰や、資材の値上がりが顕著になってきている上に、緊迫した国際情勢となって来ており、事業者をはじめ住民の生活基盤も不透明な状況となってきた。現在も、様々な支援策が継続中ではあるが、今後の、新型コロナ関連の地方創生臨時交付金の活用が継続となった場合の支援の見通しについて伺う。</p> <p>そこで、</p> <p>1-1 燃料の高騰、資材費の高騰に対する事業者への更なる支援は出来ないか伺います。</p> <p>事業者支援に加え、今後は家計に対する直接支援を望む声がある。様々な算定基準から外れ申請とまでいかない家庭の中で、支援に対し不平等感を抱く家庭も少なくない。</p> <p>そこで、</p> <p>1-2 家計費について、直接家計を助ける特別給付金のような支援策は出来ないか。特に、高校から大学生を抱えた家庭や、家計的にゆとりの少ない若い世代への支援拡充が必要と考えるが村の見解をお伺いする。</p>

質問事項 2	アフターコロナ、人口減少時代に向けたコミュニティのあり方について
質問の趣旨	希薄となった地域コミュニティの方向付けについて
質問要旨と質問	<p>オミクロン株の広がりにより長期に亘る自粛規制が続いている中で、喬木村においても普通に感染を確認する状況となってきた。そんな中、地域のコミュニティのあり方にも大きな影響を及ぼしてきていることは周知のところである。</p> <p>定期的な集会や、組合内のコミュニティにも影響が出ているおり、感染予防対策をとってということだが、回覧板を回すことに対しても不安視する声も多い。</p> <p>そこで</p> <p>2-1 地域内の集会や回覧板の廻し方について理想とする指針を示すことは出来ないか。お伺いする。</p> <p>コロナにより多くの事業が中止、変更を促され、地域のコミュニティが希薄になり様々な課題が出されてきている一方で、事業を行わないことから、今までの慣例化された事業に対する新しい見方（向き合い方）もできるようになってきた。</p> <p>これを機に、自治会運営のスリム化を図ることへ、一步踏み出せる場面も出てきているのではないかと感じる。</p> <p>地域の中には、様々な団体や、組織の役割が存在している。村の事業に関係したものばかりにとられるのではなく総合的に地域のコミュニティのあり方を、また組織作りにメスを入れていく必要があるのではないかと感じる。</p> <p>昨年も質問させて頂き、「地域組織の再編など他の先進事例を区会連絡会等で紹介したり、地区担当職員が地区に足を運び地域課題を村と共有しながら一緒に解決していく。地域の住民が安全・安心に、そして幸せに暮らせるためには、何が必要で何を残すのか真剣に考えなければいけない時期に来た。村もしっかりと支援をしていきたい。」という回答を得ており、一定の理解はしているが、改めてこの課題についてお伺いをする。</p> <p>2-2 新たな地域の仕組み作りの動きや、参考とする事例を含め今後の地域の組織作りの基となるような指針を示すなど課題解決に向けた動きはあるのかお伺いする。</p>

令和4年 3 月 3 日

一 般 質 問 通 告 書

次の事項について喬木村会議規則第 60 条第 2 項の規定により通告します。

喬木村議会議長 後藤 章人 殿

喬木村議会議員 福澤真理子

<p>質 問 事 項 1</p>	<p>観光資源として、矢筈キャンプ場の整備と利用者の意見を取り入れることについて</p>
<p>質 問 の 趣 旨</p>	<p>安全・安心に楽しめるキャンプ場に。 意見、要望を受け取り、利用してもらって発信、PRしてもらえる取り組みはできないか。</p>
<p>質問要旨と質問</p>	<p>1 年の内の長い期間を、矢筈キャンプ場は河川敷にもテントを張りキャンプ、川遊びをする若者や家族連れでにぎわっている。最近はソロ、一人キャンプを楽しむ人も多い。ちょっとした空き地を見つけてキャンプを楽しんでいる人もいる。この冬場にも県外から訪れる人もいる。三遠南信道の開通を見据え、静岡方面からも喬木村を訪れる人を増やしていいのではないか。キャンプ場を利用する人から、木がうっそうとして入って行きにくく散策もしにくいという意見を聞いている。</p> <p>① 安全に安心して利用してもらえるよう、キャンプ場内が明るくなるように樹木の整理等はできないものか。看板も年数が経ち、読めないことはないが薄汚れている。利用上の注意事項が書かれており、読んでもらえるよう見栄えをよくすることも必要と思うが、どう考えられるか伺う。</p> <p>② 遊歩道に倒木があり、テントサイトに雑木が生えている状況にある。管理はどのように行われているか伺う。</p> <p>③ 左岸の東屋、炊事場等は保健保安林の中であり改良は難しいと、以前の一般質問の答弁にある。矢筈公園をドローンで撮影した映像を見た。誰が投稿したものか分からないが、行ってみたいと思える映像だった。村内でも利用する人はいる。全て採用するというわけではないが、キャンプ場としての利用のし易さや景観の保全など利用する人の要望など聞く機会をつくってもらいたい、また利用してその良さを発信してもらいような取り組みができればよいと思うがいかがか伺う。</p>

質問事項2	学校の女子トイレに生理用品の配置を
質問の趣旨	子どもたちが安心して学校生活を送ることができる環境をつくりたい。
質問要旨と質問	<p>生理をネガティブに捉える人が多いのは世界共通だと言われ、日本ではまだ公にしゃべることもできない、生理を恥ずべきもの隠すべきものとして語られない社会で問題として認識されなくなってしまうと指摘されている。単純に買うお金がないということだけでなく知識や意識の上での貧困であり、人の尊厳の問題であると指摘されている。</p> <p>① この点についてどのように考えられるか伺う。</p> <p>村ではコロナ禍における経済的な困難に鑑み、昨年秋から希望する人に生理用品の無償配布を取り組んでいただいている。自ら希望して取りに来られる方は少なく、社会福祉協議会によるフードパントリーの実施の折などに個別に声をかけ、持ち帰ってもらうなどの状況であるとお聞きした。</p> <p>学校では、保健室に常備されており、必要とする児童・生徒の求めに応じて提供されているとお聞きしている。しかし経済的理由ばかりでなく、小中学生は生理が始まる時期で不安も強い。周期も不安定で体調などにより予期できないこともある。いつでも保健室に行くことができる状況ばかりではないと考える。「#みんなの生理」の調査では、大学生や就業している人でさえ、困ったことがあると訴えている。学校のトイレへの生理用品の配置は全国で少しずつだが広がりつつある。ある学校の取組。「ナプキンが入っていること、と生理のことや何か困っていることがあれば先生に相談してね。一緒に考えましょう。」こんなメッセージのついた箱に入れられているそうです。困っている子どもに届く方法は多い方が良い。</p> <p>② 以上の視点から学校の女子トイレに生理用品の配置をする必要があると思うが、どう考えられるか伺う。</p>

令和 4年 3月 3日

一 般 質 問 通 告 書

次の事項について喬木村会議規則第 60 条第 2 項の規定により通告します。

喬木村議会議長 後藤 章人 様

喬木村議会議員 小川原 美智穂

<p>質 問 事 項 1</p>	<p>宅地分譲について</p>
<p>質 問 の 趣 旨</p>	<p>移住・定住先としての環境作りや整備が整い、努力が実り、この喬木村が、移住・定住の選択肢として、選ばれる地域となったときに、居住する宅地は充分足りているのだろうか。</p>
<p>質問要旨と質問</p>	<p>定例会初日にございました村長挨拶の中で、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもを産み、育てやすい環境の整備に注力する。 ・乳幼児期から義務教育終了まで、切れ目のない教育を実践し、「子育てなら喬木村で」と言われる環境を創る。 ・最先端の教育を提供することで、子どもの教育に関する不安を解消し、田舎暮らしを模索する都市部の子育て世代の移住先として選ばれる地域を目指す。 ・移住・定住の選択肢としてこの喬木村が選ばれる地域となるよう努力する。など、人口増加につながる事柄がいくつもありました。 やはり、人口増加は、自主財源確保につながり、村の活性化にもつながる喫緊の課題であり、早急な取り組みが必要と考えます。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 都市部の若い世帯を呼び込むだけの戸数が、この2分譲地だけで、賄えると考えているのか。 2. 今後も宅地分譲を行う計画があるのか。 3. 移住件数の目標値を、どのくらいと考えているのか。 4. 都市部の子育て世代の移住先として、選ばれるには何が必要だと考えているのか。

令和4年 3月 2日

一 般 質 問 通 告 書

次の事項について喬木村会議規則第60条第2項の規定により通告します。

喬木村議会議長 後藤章人 殿

喬木村議会議員 佐藤文彦

<p>質 問 事 項 1</p>	<p>村長の所信表明について</p>
<p>質 問 の 趣 旨</p>	<p>3期目4年間の課題と新年度予算</p>
<p>質 問 要 旨 と 質 問</p>	<p>1-1 所信表明で掲げた課題に対する具体的な政策について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① リニア・三遠南信自動車道の開通を見据えた、道路インフラ整備、交流拠点整備計画等の準備について <ul style="list-style-type: none"> ・役場内組織の強化とは ② 災害対策としての森林整備、排水路整備について <ul style="list-style-type: none"> ・森林整備の具体策は ③ 人口減少対策、後期高齢者対策について <ul style="list-style-type: none"> ・高速交通網を活かした新たな村づくりのビジョンは ④ リニアガイドウェイ製作ヤードの後利用について <ul style="list-style-type: none"> ・跡地利用を検討するうえでの必須条件とスケジュールは <p>1-2 新年度予算3つの重点項目について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 子育て支援と定住促進について <ul style="list-style-type: none"> ・子育て、教育環境の充実を効率的にアピールする必要は ② SDGsの推進と災害に強い村づくりについて <ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素社会に向けた地球温暖化防止計画の内容は ③ 新型コロナウイルスへの対応について <ul style="list-style-type: none"> ・地域経済、地域コミュニティの再生に必要な新たな支援策は <p>1-3 住民主導、民間主導の村づくりについて</p>